１．　酪農経営指標

		1	2	3
【経営類型の特徴】		搾乳ロボット等の省力化技術や発情発見・分娩監視装置等のスマート農業技術の導入、TMRセンターの活用により、労働時間の削減と高い個体乳量を両立して所得を確保する家族経営	飼料生産組織を活用して国産飼料を確保し、自動給餌機等の省力化技術や発情発見・分娩監視装置等のスマート農業技術により労働時間を削減しつつ安定した所得を確保する法人経営	集約放牧により労働時間や生産コストを削減して所得を安定的に確保する家族経営
【立地条件】		土地条件の制約が小さい地域（主として北海道）		
【土地条件】		畑主体	畑主体	牧草地主体
【経営形態】		家族	法人	家族
【飼養形態】		経産牛　130頭	経産牛　250頭	経産牛　70頭
	飼養方式	フリーストール （搾乳ロボット）	フリーストール （ミルキングパーラー）	放牧、つなぎ飼い （パイプラインミルカー）
	スマート農業技術	搾乳ロボット、自動給餌機、餌寄機、哺乳ロボット、発情発見・分娩監視装置	自動給餌機、餌寄機、哺乳ロボット、発情発見・分娩監視装置	ミルカー自動離脱装置
	外部化	TMRセンター	コントラクター	—
	給与方式	TMR給与	分離給与	分離給与
	放牧利用（放牧地面積）	—	—	放牧（35ha）
【牛】				
	経産牛１頭当たり乳量	10,500kg	9,700kg	8,300kg
	更新産次	4.0	4.0	4.2
【飼料】				
	作付体系及び単収	【TMRセンター】 混播牧草 （4,000kg/10a） 青刈りとうもろこし （5,500kg/10a）	【コントラクター】 混播牧草 （4,000kg/10a） 青刈りとうもろこし （5,500kg/10a）	混播牧草 （4,000kg/10a） 青刈りとうもろこし （5,000kg/10a）
	作付面積（延べ面積） ※放牧利用を含む	106ha（106ha）	194ha（194ha）	61ha（61ha）
	購入国産飼料	—	—	—
	飼料自給率（国産飼料）	70%	70%	70%
	粗飼料給与率	70%	70%	70%
【人】				
	労働　総労働時間（主たる従事者の労働時間）	5,070時間 （1,800時間×２人）	16,500時間 （2,000時間×４人）	6,090時間 （1,800時間×２人）
	労働　雇用者	臨時雇用	２人＋臨時雇用	１人＋臨時雇用
	経営　粗収入	17,680万円	31,460万円	7,380万円
	経営　経営費（うち雇用労賃）	14,820万円 （270万円）	24,660万円 （1,940万円）	5,130万円 （490万円）
	経営　農業所得	2,860万円	6,790万円	2,250万円
	経営　主たる従事者１人当たり所得	1,430万円	1,700万円	1,130万円
	生産性　搾乳・飼養管理等に関する作業時間（経産牛１頭当たり）	39時間	66時間	87時間
	生産性　生乳１kg当たり費用合計	104.1円	97.9円	87.3円

		4	5
【経営類型の特徴】		飼料生産組織の活用により国産飼料を確保し、家族労働力を中心に経営資源に見合った頭数規模で安定した所得を確保する家族経営	飼料生産組織の活用や耕畜連携により国産飼料を確保し、搾乳ロボット等の省力化技術や発情発見・分娩監視装置等のスマート農業技術により労働時間を削減し、少ない農業従事者数で安定した所得を確保する法人経営
【立地条件】		土地条件の制約が大きい地域（主として都府県）	
【土地条件】		畑又は水田	畑主体
【経営形態】		家族	法人
【飼養形態】		経産牛　45頭	経産牛　130頭
	飼養方式	つなぎ飼い （パイプラインミルカー）	フリーストール （搾乳ロボット）
	スマート農業技術	ミルカー自動離脱装置	搾乳ロボット、自動給餌機、餌寄機、哺乳ロボット、発情発見・分娩監視装置
	外部化	コントラクター	コントラクター
	給与方式	分離給与	分離給与
	放牧利用（放牧地面積）	—	—
【牛】			
	経産牛１頭当たり乳量	9,500kg	10,000kg
	更新産次	3.7	3.7
【飼料】			
	作付体系及び単収	【コントラクター】 イタリアンライグラス （4,000kg/10a） 青刈りとうもろこし （5,500kg/10a） 稲WCS （2,700kg/10a）	【コントラクター】 混播牧草 （4,000kg/10a）
	作付面積（延べ面積） ※放牧利用を含む	21ha（24ha）	51ha（51ha）
	購入国産飼料	—	青刈りとうもろこし
	飼料自給率（国産飼料）	50%	50%
	粗飼料給与率	60%	60%
【人】			
	労働　総労働時間（主たる従事者の労働時間）	4,010時間 （1,900時間×２人）	6,110時間 （1,800時間×２人）
	労働　雇用者	臨時雇用	1人+臨時雇用
	経営　粗収入	6,210万円	18,900万円
	経営　経営費（うち雇用労賃）	4,580万円 （40万円）	16,470万円 （490万円）
	経営　農業所得	1,630万円	2,440万円
	経営　主たる従事者１人当たり所得	820万円	1,220万円
	生産性　搾乳・飼養管理等に関する作業時間（経産牛１頭当たり）	89時間	47時間
	生産性　生乳１kg当たり費用合計	102.7円	122.3円